

始め良ければすべて良し

このお話は、Uber もない、スマホもない時代のお話です。

私はマレーシアのクアラルンプール (Kuala Lumpur, KL) に住んでいました。長い休みのとき、クアラルンプールからタイのバンコクへ旅行に行こうと思いましたが。

バンコクへ行くには、まず、私の住んでいるところからタクシーに乗って、KL セントラル駅へ行きます。そして、KL セントラル駅からクアラルンプール国際空港へ行く電車に乗ります。そして、空港から飛行機に乗って、タイのバンコクへ行きます。

「タクシーに乗って、電車に乗って、飛行機に乗って、タイへ行く」と聞いたら、特に大変なことはないと思うかもしれませんが。しかし、Uber もない、スマホもない時代は、最初の「タクシーに乗る」のが一番大変だったのです。

タクシーに乗ろうと思っても、Uber のようにタクシーを呼ぶことはできません。ですから、道を走っているタクシーを見つけたら、手を上げてタクシーを止めます。止まってくれるタクシーもあれば、止まってくれないタクシーもあります。

タクシーが止まったら「●●まで行きたいんだけど、行ける？」とタクシーの運転手に聞かなければなりません。私の行きたいところとタクシーの運転手の行きたいところが反対だったり、道が混んでいたりとすると、断られることも珍し

くありませんでした。

私が小さなスーツケースを持ってタクシーを探していると、一台のタクシーが止まりました。「KL セントラル駅まで」と言うと、タクシーの運転手が手招きをしました。乗ってもいいようです。

私がタクシーに乗ってタクシーのドアを閉めたとき、タクシーの運転手がタクシーを探している女性を見つけました。タクシーの運転手とその女性はちょっと話をしました。その女性も私と同じように小さいスーツケースを持っていました。きっと、KL セントラル駅へ行って、空港へ行くところだったのでしょ

う。

タクシーの運転手と女性が少し話をしました。そして、その女性もタクシーに乗ることになりました。全然知らない人と同じタクシーに乗ることがあると聞いたことがありました。私は「駅までいっしょに行くんですね」と思いました。

タクシーは 10 分ほど走りました。もう少しで KL セントラル駅に着くところで、私は「タクシーの料金はどうするんだろう。2人で半分ずつかな」と思いました。駅に着くと、メーターは「7.00」、7 リンギ (Ringitt) でした。タクシーの運転手はメーターを見て、「1人 5 リンギ！」と言いました。

タクシーに乗っていた女性と私は、メーターより 2 リンギ安くタクシーに乗ることができました。タクシーの運転手はメーターより 3 リンギ多くもらえました。1人だけ得する人もいないし、1人だけ損する人もいないし、みんな得しました。私はタクシーの運転手の計算の速さにびっくりしました。

そして、一番大変な移動が気持ちよく終わったので、私は「楽しい旅行になり
そうだ」と思いました。

(1177 字)

(2020.4 Written by Ryoza SASAKI)



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 -4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.